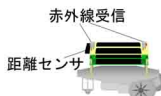


1 領域分け



- ・赤外線を送信部を3つの領域に分け
⇒それぞれ1ch・2ch・3ch
- ・各chから送信される赤外線IDによってbodyを管理
- ・赤外線は38kHzに変調
⇒各IDはいづれも8bitのID



- ・38kHz 専用受光素子を前後に設置
⇒前—シリアル受信
⇒後—受信の有り / 無しのみ確認

受信無し



回転+直進
ch 探索

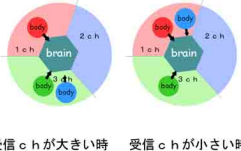
受信有り

①



180度回転
brainの方向を向く

②



正しいchへ移動

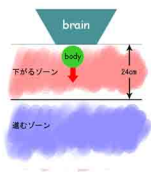
③



追従へ

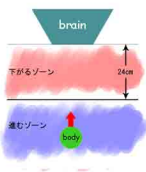
2 追従

bodyがbrainに近いとき



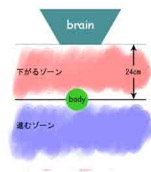
適当な位置まで下がる

bodyがbrainと遠いとき



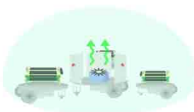
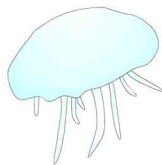
適当な位置まで近づく

bodyが適当な距離にあるとき



そのままの距離を保ちbrainに追従

3 形状維持



イメージ図

- ・クラゲのかさに見立てたものでbrainとbodyの全体を覆う
- ・全体の動きに影響しないよう、覆いを固定せずにファンなどで持ち上げる

4 拡張の可能性

・感情表現

- 熱センサで人間感知
- タッチセンサで喜怒哀楽の表現

・より確実な通信の実現

- 無線通信機の使用

